

「こども・子育てに関するワークショップ」

委員名 () 委員

①主体 (どんな人が)	
②規模 (何人・何㎡ぐらい)	
③機能 (居場所・保育所など)	
③-1 利用頻度	ほぼ毎日 週数回程度 月数回程度
③-2 時間帯	午前 午後 夜間
③-3 形態 (どのように使うのか)	(具体的に記入してください)
③-4 必要な根拠 (なぜ必要なのか)	(具体的にお示しください)

※あいりん総合センター跡地等に求める機能について

(2020年10月14日 あいりん地域まちづくり会議策定) 4 ページ

こどもの居場所、子育て支援機能

- ・学年を問わず利用できるこどもの居場所⇒図書館、農園等 (居場所・体験学習機能を含む)
- ・地域外のこどもも含めて検討し、地域に呼び込む集まれる場に
- ・こども専用のフロアを確保してほしい。こどもが自由に遊べる場所
- ⇒こどもだけではなく若者に対象を広げて、音楽やストリート系などに挑戦する若者も使うことができるスペースに (利用者層の対象地域も広げる必要がある)
- ・こどもの自己実現を促すチャレンジの場 ⇒プレーパーク、地域の仕事体験型学習機能
- ・こどもを預けることができる機能⇒保育園・幼稚園、ショートステイ
- ⇒ネグレクトを受けているこどもなども寄ることができる場所にしてほしい
- ・現在、対象となるこどものイメージが見えにくいいため、ターゲットニングや具体的なつながり方など専門部会議論を深めること
- ・周辺施設との連携・つながりを重視すること (『萩小の森』等)

＜必要となる場所・人員等＞

- ・図書館、プレーパーク、ショートステイ、農園等の設置に必要なスペースと運営に必要な職員の配置
- ⇒中学生高校がスタッフとして参加し、主体的に企画する (そのために大人がサポートする)
- ・保育所や幼稚園に必要なスペースや人員 (認可等基準での確・配置)